2011年5-6月 ITU-R WP1A 会合報告書

資料２－２

【会合名称】 ITU-R WP1A会合

（スペクトラム管理技術、共用に関する作業部会）

【会期】 2011年5月25日（水）～6月1日（水）

【開催場所】 スイス　ジュネーブITU本部

【概要】

本会合は、今研究期間における第6回会合である。33ヶ国の主管庁と7のROA (Recognized Operating Agencies)、3のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、5の地域または国際機関事務局より計119名が参加した。日本からは、岩元、中村、郷藤（総務省）、小坂、村上、岩間（NICT）、服部、高部（NTTｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾃｸﾉﾛｼﾞ）、木佐貫（新日本無線）、橋本（日本無線）、北沢（K&Aｽﾍﾟｸﾄﾗﾑｲﾝﾃｸﾞﾚｰｼｮﾝ）、立澤（国立天文台）、三浦（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾓﾊﾞｲﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ）、鈴木（三菱総研）、森（ﾜｼﾝﾄﾝｺｱ）の15名が参加した。

日本、韓国、カナダ、米国などからの寄与文書及び前回の議長報告と他グループからのリエゾン文書を含め合計67件の文書が入力され、27件の出力文書が作成された。

会議では、３つのWorking Group (WG)等が設置され、下記の担当事項の審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。また、各案件の結果は2頁以降のとおりである。

表-1　会議の構成と各グループの担当事項

|  |
| --- |
| Working Party 1A 議長：R. GARCIA De SOUZA （ブラジル）  |
| Working Group 1A-1 議長：Mr. R. Liebler（ドイツ）担当：PLTシステム |
| Working Group 1A-2 議長：Ms. J. Sider（カナダ）担当：WRC-12議題1.22, 8.1.1-Issue A及びSRD関連 |
| Working Group 1A-3 議長：Mr. Y. Ollivier（フランス）担当：WRC-12議題1.6関連及び勧告改定関連 |

# Working Group 1A-1：電力線搬送通信（PLT）システムとその関連問題（議長:Mr. R. Liebler（独））

今回のWP1A-1会合では、無線通信や放送システムに対する電力線搬送通信（PLT）システム及びPower Grid Managementについて24件の寄与文書が入力され、5回の会合および以下の4つのDrafting Group (DG) において審議が行われ、11件の出力文書が策定された。

　DG1:（議長：Mr. YANG Allen（USA））Power Grid Management

　DG2:（議長：大石氏（IUCAF））ITU-R Report SM.2158の改定

DG3:（議長：Mr. Einolf（CBS））80MHz以上のPLTに関する新レポート草案

　DG4:（議長：Mr. R. Liebler（独））ITU-R勧告SM.1879の改定

## 電力線搬送通信（PLT）システム

**入力文書**：1A/311 (WP1A議長報告Annex 1,2,3), 314(7D), 320(6A), 324(5A, 5B, 5C), 334(PLT RG 1A), 338(IARU), 341(5D), 343(BBC), 347(4C), 350(T SG 15), 353(IUCAF), 354(IUCAF), 355(ISR), 358(CBS), 359(CBS), 360(CBS), 370(NRD&ZDF), 371(EBU), 372(6A), 374(6A), 375(6A)

**出力文書** ：1A/TEMP/129, 138, 139, 140, 141, 142, 143

主要結果

無線通信や放送システムに対するPLTシステムに関する勧告及び各種レポートについて審議が行われ、以下の結果を得た。

1. 30MHz以下のPLTシステムからの保護基準に関する勧告SM.1879について、80～470MHzを追加する改定案が承認された。
2. 80MHz以下のPLTの影響に関するレポートSM2158について、2章及びAnnex 3の改定案が承認された。
3. 80MHz以上のPLTの影響に関する新レポート草案について、各国・団体からの意見が反映されたものが承認された。
4. PLTからの放射とモデム出力の関係性に関する暫定新レポート草案SM.[PLT RAD-PSD]が策定され、議長レポートに添付されることとなった。

次回会合では勧告SM.1879における30～80MHzの保護基準及び暫定新レポート草案SM.[PLT RAD-PSD]について議論が行われる予定である。

### 勧告SM.1879「30MHz以下の無線通信業務に対するPLTの影響」の改定

審議文書：1A/314(7D), 320(6A), 324(5A, 5B, 5C), 334(PLT RG 1A Annex 3), 338(IARU), 355(ISR), 359(CBS), 371(EBU)

2011年1月開催の第1回PLTラポーターグループにて策定された80～470MHzを追加する暫定改定案（1A/334 Annex 3)に対して、各国・団体から提出された寄与文書を盛り込んだ議長案がDG4にて提示され、以下の議論の結果、WGに上程されることとなった。

* recommends 2のmayをshouldに変更する点について、周波数範囲の変更のみと説明があったが、問題ないか確認するコメントがあった。前回SG1会合にて米、独、日よりshouldが適切とのコメントがあったことを踏まえ、反対無く承認された。
* Annex 1表2について、米より3.1の放送に関する保護基準を0.5dBとしたい意見があったが、CBS、IUCAF、バチカン、EBU等から反対意見が出された。議長より1％にする妥協案が提示され、WGで議論することとなった。同表中の3.8、3.9についてはWP4C議長と調整中のため、ひとまずスクエアブラケットとすることとなった。またIUCAFからの同表中のTBDについて確認するコメントに対し、バチカンより保護基準が何も適用できないと問題で、何かしら許容値を設定する必要があるのではと意見があり、議長からsee NOTEとして0.05dBを保護基準とする案が示され、了承された。

WG1A1において、スクエアブラケットとなっていた箇所は修正なく了承され、エディトリアルな修正の後、WP1Aに1A/TEMP/141として上程された。またWP1Aにおいてもエディトリアルな修正の後に承認され、SG1へ1/167として上程されることとなった。

### レポートSM.2158「80MHz以下の無線通信業務に対するPLTの影響」の改定

審議文書：1A/311 (WP1A議長報告Annex 2), 353(IUCAF), 354(IUCAF), 360(CBS)

各国・団体から寄与文書により、2章「PLTシステムからの高周波放射の特性」及びAnnex 3「PLTシステムからの高周波放射」の改定に関してDG2にて以下の議論が行われたのち、WGに上程されることとなった。

* IUCAFの現在の2章は複雑であるとしてAnnexに移行し、基礎的な新2章を記載する案と、CBSの2章を全面削除とする案が提示されて意見が分かれた。日本としては現在の2章は理論的に難解で、またすべてのPLT使用状況を表現できるわけではなく、全面削除とするか基礎的な新2章のみとすることが良いと主張したところ、後者にて合意が得られた。
* IUCAFから新たな実験結果をレポートに追加することが提案され、特に意見無く承認された。

WG1A1では一部オフラインで修正することとして承認され、1A/TEMP/139として上程された。WP1Aにおいてはいくつかのコメントの後、原案通り承認され、SG1に1/166として上程されることとなった。

### 80MHz以上の無線通信業務に対するPLTの影響に関する新レポート草案

審議文書：1A/311 (WP1A議長報告Annex 1), 314(7D), 320(6A), 324(5A, 5B, 5C), 334(PLT RG 1A Annex 2), 338(IARU), 341(5D), 343(BBC), 347(4C), 350(T SG 15), 355(ISR), 358(CBS), 370(NRD&ZDF), 372(6A), 374(6A), 375(6A)

本件については16件もの文書が入力され、2011年1月開催の第1回PLTラポーターグループにて策定された案をベースに、全ての入力文書の内容をDG議長が取りまとめ、その内容に基づきDG3にて審議された。エディトリアル修正以外は特段問題なく承認され、WG1A1に上程されることとなった。ただしIsraelからの提案は実状況への適用性において妥当性の確認が必要との指摘がLiebler議長からあり、今回は盛り込むことが出来ないため、議長報告に添付してラポーターグループで検討することとなった。

WG1Aでは各国から支持するコメントののち、新レポート草案として承認され、1A/TEMP/140として上程された。WP1Aにおいては特に意見無く承認され、1/171として上程されることとなった。

### PLTからの放射とモデム出力の関係性に関する暫定新レポート草案SM.[PLT RAD-PSD]

WG1A1にてBBCより「PLTからの放射とモデム出力の評価法の検討」について概要説明が行われた。本文書はレポートSM.2158にあるPLTからの放射のモデリングに関連して、80MHz以上の特性について研究したものである。無線通信の保護のためモデム出力のPSDを制御するにあたり、その影響のモデリングの基となり、これにIUCAFの研究を追加し、暫定新レポート草案としたいとの提案であった。また、Israelからの提案（1A/355）も関連するが、妥当性に問題があるので盛り込むには検討が必要とのことであった。

米から一部修正を求める発言があり、議長からIUCAFの研究の追加と米からの修正をオフラインで議論し、取りまとめたものをWP1Aに提出するよう指示があり、WG1A1として承認され、1A/TEMP/143として上程されることとなった。

WP1Aにおいて、IUCAFの研究（1A/353 Annex 2）の追加と米からの修正を取りまとめたものが提示され、特段意見無く、議長レポートに添付されることが承認された。

## Power Grid Management

**入力文書**：1A/311 (WP1A議長報告Annex 4), 356(B), 357(IEEE), 377(SG1議長: 1/104 and 1/142)

**出力文書** ：1A/TEMP/119, 120, 121

主要結果

PLTシステムに関連して、Power Grid Managementに関する審議が行われた。新課題案について、特に修正無く承認された。また、暫定新レポート草案については、特段意見無く承認されて議長レポートに添付されることとなった。

### Power Grid Managementに関する新課題案及び暫定新レポート草案

審議文書：1A/311 (WP1A議長報告Annex 4), 356(B), 357(IEEE), 377(SG1議長: 1/104 and 1/142)

前回SG1会合にてシリアの反対により採択されなかった新課題案「Power Grid Managementに使用される無線/有線通信技術からの無線通信への影響」について、WG1A1では特段議論しないこととなった。WP1Aにおいても特段意見無く承認されて、SG1に再度上程することとなった。

暫定新レポート草案「スマートグリッドの電力管理システム」について、DG1にて各寄与文書を取りまとめた修正案が策定され、WG1A1にて特に意見無く承認されて1A/TEMP/121としてWP1Aに上程されることとなった。WP1Aにおいても特段意見無く承認され、議長レポートに添付されることとなった。

# 【参考】PLTフォーラムの概要について

主要結果

ITU-R 主催の「電力線搬送通信（PLT）と無線通信との技術的両立性に関するITUフォーラム」が5月27日に開催された。参加者はITU関係者に止まらず、PLTに関連した各種団体が参加し、PLTの最初の横断的会合となった。当初期待したPLTに関する“何らかの合意”は得なれなかったが、一つのステップとして評価された。標準化団体と関連業界が今後ITUを中心にPLTの連携を模索する可能性もあるが、CISPRに代表されるように先行きに厳しい見方もある。80MHzが一つの周波数境界と考えられ、放送業界も受け入れの可能性としている。一方で、40dB以上クリアできるNotching技術が必要とされ、製品コストに痛みわけを強いる意見もでた。

### セッション１：両立性に関するPLTの開発及び規格化の概要

* PLT Standardization landscape (Mr. Stefano Galli, G.hnem編集者 - ITU-T SG15)

　多くの標準が並立し、国際標準はRubberstampingになっている。PLT製品も多種あり、相互干渉も起りえる状況である。標準化団体の役割が期待される。

* The IEEE approach (Mr. Jean-Philippe Faure, IEEE P1901議長)

　MACと物理層を規定するIEEE1901とEMC(Test &Measurement)のIEEE1775がある。応用のレンジがひろく、HD-PLC AllianceとHomePlug Allianceで採用されている。

* The HomePlug approach (Mr. Michael Koch, Director Strategic Positioning, devolo AG)

Industry-led initiativeである。IEEE1901に準拠Broadband製品の90%に採用されている。

* The IEC approach (Mr. Martin Wright, CISPR/I議長)

CISPR Iは10年近い継続努力をしてきたが、賛否両論でありまだコンセンサスを得るにいたっていない。40dBの壁をクリアする必要がある。CDVプロセスに入るか否か確信がなく、PLT審議を中断している。

* The ITU-T approach (Mr. Les Brown, ITU-T Q4/15 ラポーター)

G.9960規格について。Notchの対応をいろいろ考慮している。

* The HomeGrid approach (Mr. Vladimir Olksman)

ITU-T　Narrowband PLC、スマートグリッドに使われる。

* The ETSI approach (Mr. Roger Samy, ETSI-PLT-TC副議長)

無線業務、VDSL2などとの共存について及び各種Mitigation技術について。

* Summary discussion on approaches

80MHz以上のPLT動向について話がなかったが、IEEEとITU-Tは80MHz以下で協調している。一方でほとんどの製品が80MHz以上の干渉波を出している。

### セッション2：無線通信に対するPLTの影響

* ITU-R deliverables and working documents (Mr. Reiner Liebler, WP1Aラポーター)

ITU-R WP1A１の研究として各種課題、勧告、レポート等が紹介された。

* Case Study – PLT impacts on aeronautical services (Mr. John Mettrop, WP5B議長)

航空業務の安全には屋根のシールドが重要である。30MHz以下なら対応可能かも。

* Case Study – PLT impacts on broadcasting services (Mr. Charles Einolf, WP6Aの代表)

いろいろなPLT干渉実測のCaseを紹介している。Idleモードでも干渉は出ていること、また少なくとも3MHz以上の放送業務のスペクトラムは使用不可であるとした。

* Case Study – PLT impacts on radio astronomy (Mr. Masatoshi Ohishi, WP7Dの代表)

問題はAggregateなSkywave伝播の影響である。RAS業務指定帯域（13.360-13.410, 25.550-25.670MHz）に50dB以上のNotchが必要である。

### セッション3：両立性を得るために

* What can regulators do? (Mr. Reiner Liebler, Federal Network Agency, Germany)

PLTとの両立に関してドイツの例を示し、どのような調整が可能かを説明。

* What should PLT stakeholders do? (Mr. Stefano Galli, Editor, G.hnem - ITU-T SG15)

ステークホルダーは互いの主張を理解して調整しあい、ITUはその調整の中心となる。

* What should radiocommunication stakeholders do? (Mr. Peter Chadwick, IARU Technical Consultant)

ステークホルダーはPLTの影響を最小化しなければならない。

### セッション4：パネルディスカッション ‐ 次のステップ

パネラー：HomeGrid Forum (Mr. Matt Theall), IEEE (Mr. Jean-Philippe Faure), HomePlug Powerline Alliance (Mr. Michael Koch), IEC (Mr. Martin Wright), ITU-T SG 15 (Mr. Stefano Galli), National Regulator (Mr. Raphael de Souza), ITU-R SG 5 (Mr. John Mettrop), ITU-R SG 6 (Mr. Christoph Dosch, Chairman), ITU-R SG 7 (Mr. Masatoshi Ohishi), ITU TSB (Mr. Bilel Jamoussi), ITU BR (Mr. Colin Langtry).

各パネラーが各々の考えを主張（基本的にプレゼンと同様の内容）し、議長から有益な協力を行っていきたい旨のコメントがあった。最後に異なるセクターのたくさんの出席者がコメントしてくれたことに議長から感謝の言葉が述べられた。

# Working Group 1A-2：WRC-12議題1.22, 8.1.1-Issue A（議長:Ms. J. Sider （カナダ）

WG1A-2は、WRC 議題1.22の作業進展のための文書PDNReport ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.22]の本会合における完成に向けた作業、議題 8.1.1 (Issue A)に関する報告書に向けた作業およびNID/USN/RFIDに関する標準化作業の連携に関するLS文書作成を中心に、検討を行った。

WRC議題1.22のCPM Text案に向けた作業については、WG1A2において行い、WRC-12議題8.1.1 Issue A、決議63関連に向けた作業については、AD Hoc的な作業として、DG-ISMを開設し、検討を行った。

## ショートレンジ・デバイス (SRD)　WRC-12 議題1.22

**入力文書：**1A/311 (議長報告 Annexes 5, 6 and 8),318(IMO), 326(WP 5A), 361(CBS), 368(CAN)

**出力文書：**1A/TEMP/131

主要結果

**2.1.1 Preliminary Draft New Report ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.22]**

当該PDNRに関しては、計4件の寄書のうち、議題1.22に関するIMOの見解を示す寄書を除いた3件について、提案内容を反映させたベースライン文書を作成し、これに基づき作業を行った。

今回の作業においては、WP5Aから(1A/326)にて入力されている情報として、ITU-R Question 250/5については、AI-1.22と関連性が無いことから、現在記載の文言を削除するというものや、またCBSからは(1A/361)、BSと他業務の周波数共用検討に係る保護規定に関するITU-R 勧告について、3章へ追加掲載することへの提案があり、各々を反映することとした。

また、カナダからは(1A/368)により、今回本文書に関する作業を実施した後、PDNReportから、DNReportへ格上げすることの提案があった。

さらに、前回から問題提起され、Note書きされている、”e.i.r.p. 43dBm(13dBW)と言う数値は、SRDという用途において適切なのか、翻して言えば、e.i.r.p. 13dBWのシステムはSRDとして扱って良いのか”、という点については、UAEから、下記の文言を本文中に追記する提案があり同意がされた。“*RFIDはSRDとして位置付けられてはいるが、幾つかの国においては、このような送信出力の装置については、SRDとして扱うことができない*”

以上、当該文書(案)は完成し、WG1A-2、およびWP1Aにて承認され、DNReport ITU-R SM. [WRC-12-1.22]としてSG1会合へ上程することとした。

## ISM機器からの放射に関する研究（WRC-12議題8.1.1 Issue A、決議63関連）

**入力文書：**1A/311(議長報告　Annex 9), 312(WP7C), 313(WP7D), 315(WP7B), 317(WP5D), 322(WP5C), 328r1(WP5A), 330(WP5B), 340(WP5D), 348(WP4C), 349(WP4A), 366(韓国）

**出力文書：**1A/TEMP/122, 123, 132, 133, 144

主要結果

**2.2.1 ISM機器からの放射によるデジタル変調無線システムへの保護規定に関する作業文書**

現在のCISPRの放射規定は、アナログ変調方式の無線業務のための保護を目的としており、このことから、ITU-RとしてはCISPRへデジタル変調無線システムの特性と保護規定についての提供を行う必要がある。この情報提供により、CISPRとしては、特にRR記載のISM application として運用されるデジタル変調無線システムの保護に対する、ISM機器からの放射規定の開発が可能となる。WP1Aは上述の検討を行うにあたり、前回の第5回WP1A会合において、関連WPへデジタル変調無線システムの保護規定に関する情報提供を請うためのLS文書を送付しており、今回それらの回答内容をまとめてISM機器からの放射によるデジタル変調無線システムへの保護規定に関する作業文書を作成した。本作業文書は、引き続き次回会合において検討するため、WP1Aにて承認された上で、議長報告書に添付することとした。(1A/TEMP/132)

また、上述の作業を促進するため、関連WP(WP4A, WP4C, WP5A, WP5B, WP5C, WP5D, WP6A, WP7B, WP7C, WP7D)からの引き続きの情報提供を請うための、LS文書を作成し、送付することとした。(1A/TEMP/144)

**2.2.2 暫定新勧告草案ITU-R SM. [ISM]に向けた作業文書**

本作業文書は韓国から(1A/366)により提案されたもの。当該勧告は、30MHz以下で稼働する電磁誘導機器と無線通信業務の両立性の研究手法を与える。代表的な電磁誘導機器はIH調理器やワイヤレス給電機器である。電磁誘導機器の使用は増加しているので、その干渉から既存の無線通信業務を保護する必要があるというもの。日本や、フランスからは、本件のような検討については、CISPRが行うべきではないのか、この案件はITU-Rが行うべきものなのかを懸念する意見があり、加えてカナダからは、仮にITU-R内で扱うのであれば、30MHz以下の無線通信業務に関する案件を所掌としている関連WPに情報提供すべきであることの意見があった。議論の結果、本件に関しては、作業文書として作業は継続しつつ、CISPR、およびITU-R内の関連WPには情報提供し、どのように扱うかを検討することとした。本作業文書は、引き続き次回会合において検討するため、WP1Aにて承認された上で、議長報告書に添付することとした。(1A/TEMP/133)

この件に付随し、上述CISPRおよび関連WP(WP4, 5, 6, 7)への情報提供、見解を請うことを目的としたLS文書を作成し、送付することとした。(1A/TEMP/123：CISPR宛、1A/TEMP/122：関連WP宛)

## その他

**入力文書：**1A/311(議長報告　Annex 9), 333（ITU-T JCA-NID）

**出力文書：**1A/TEMP/130

主要結果

**2.3.1 NID/USN/RFIDに関する標準化作業の連携について**

ITU-T JCA-NIDから、ITU-TとISO/IEC JTC1 SC31におけるRFIDを含んだNetwork aspects of Identification systemsに関する標準化の連携についての情報提供(1A/333)があった。

また、関連してコンタクトパーソンである、韓国からは、ITU-T JCA-NIDは、先日のTSAGにおいて、名称がJCA-IoTに変更になったことが説明された。

WP1Aは、本件の情報提供に関する謝辞とともに、以下内容のリエゾン返書を送付することとした。(1A/TEMP/130)

* WP1Aは、WRC議題1.22のCPM Text文書案を完成させた
* WP1Aは、WRC議題1.22に関する作業促進のための報告書作成を行い、今回完成させた。
* WP1AはRFIDを含んだSRDの無線関連の検討について、今後も引き続き、必要に応じてITU-T JCA-IoTと連携する。

# Working Group 1A-3：WRC-12議題1.6関連及び勧告改定関連　（議長:Mr. Y. Ollivier（フランス））

## 275GHzから3000GHzの周波数利用（WRC-12議題1.6、決議950関連）

**入力文書：**なし

**出力文書：**なし

主要結果

特段の入力文書はなくWP1Aでの作業は終了していることが確認された。

## 3000GHz超の周波数及び自由空間光リンク（WRC-12議題1.6、WRC-07決議955関連）

**入力文書：**なし

**出力文書：**なし

主要結果

特段の入力文書はなくWP1Aでの作業は終了していることが確認された。

## ITU-R勧告SM.1541-3のAnnex8（OoB領域放射制限－一次レーダー）の改定

**入力文書：**1A/[329](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0329)(5B), 1A/ [339](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0339)(D), 1A/[346](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0346)(Chairman, 1A CG), 1A/[351](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0351)(USA), 1A/[352](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0352)(USA) , 1A/[363](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0363)(BR/SG 5), 1A/[369](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0369)(J)

**出力文書：**1A/TEMP/128Rev.2, 1A/TEMP/134, 1A/TEMP/145

主要結果

前回の1A会合で設立されたCG議長Mr.ABBAS氏からCGの作業結果報告が行われ、入力に関する検討とITU-R勧告SM.1541 Annex8の改訂作業をDG（Drafting Group）で行うことが了承された。

DGの検討結果は以下の通り。

1. 第1章　Introductionの中でSRS 及びEESSの後に(active)を追加。
2. 第3章 OoB dmain emission limit for primary radarsの3.1項 Formula for the B-40dB Bandwidthにおいて、FM-pulseレーダーのB-40dB計算式の変更とそれに伴うパラメータ定義の追加。
3. 第3章 OoB dmain emission limit for primary radarsの3.1項 Formula for the B-40dB Bandwidthにおいて、FMCWレーダーのB-40dB計算式とその係数1.2の入れ替え。
4. 第4章 OoB maskを全てのレーダーについて30dB/decadeとすること（ただし、期限付き除外規定としてCW、FMCW、phase coded radarは2016年までに20dB/decadeを修正すること）。
5. 第6章 Design objective はレーダー製造メーカーに対してより強力に40dB/decadeを適合できる設計を促す表現とし、Design objectiveの有効期限を2016年に修正した。
6. 日本が主張した40dB/decadeロールオフマスクの情報は今後の研究期間に有効な資料として認められ、新たなリポート案として作成されることとなった。

この結果、1Aの第2回プレナリーに上程され、1A/TEMP/128 Rev.2として承認され、SG1に送られた(最終的にはSG1にて採択、PSAAによる採択、承認に回されることになった)。

また1A 議長からDesign objective実現に向けた次の研究期間の作業を推進するためにCG（Corresponding Group）を立ち上げることが提案され、新しいToR（Terms of Reference）が作成された（1A/TEMP/145）。CGの議長は今までのCG議長に引き続き作業を行うことが依頼されたが、固辞され、最終的に米国のF.Sanders氏が議長を受けることとなった。

日本の提案した40dB/decadeロールオフマスクの提案1A/369及び前回の入力1A/294が、新リポート案として１A議長報告に添付され(1A/TEMP/134)、これ以降のDesign objective実現に向けた次の研究期間での検討に使用されることとなった。

更に、WP5Bに新リポートを送付するためのリエゾンをドイツが作成することとなった。

**今後の予定と日本の課題**

今回の会合で、新リポート案が議長報告に添付され(1A/TEMP/134)、Design objective実現に向けた次の研究期間での検討を行うCGで使用されることとなったが、新リポート案の資料はすべて日本から入力されたものであり、1Aの要求として引き続き日本が情報提供していくことを求めている。

ITU-R勧告SM.1541 Annex8のdesign objectiveは、現在日本がリーダーとしてのポジションにあり（コマーシャルベースでの40dB/decadeを実現しているのは日本だけである）、今後の作業について注目されていることを念頭に置いて検討作業を続けていくことが肝要である。

またCGの新しい議長に米国がなったことにより、日本にとって現在の日本のポジションを保つことが非常に厳しい状況となることは、過去約10年にわたるWP8B,WP5B,WP1Aでの議論の経緯を振り返れば明白であり、日本が現在のポジションを保つためにはCGの検討作業に精力的な作業を継続することが大変重要であると考えられる。

## Power transmission via radio frequency beamに関する暫定新報告書案に向けた作業文書(Question ITU-R 210-2/1 )

**入力文書：** なし

**出力文書：** 1A/379 Annex 14

主要結果

入力がなかったが、今後も検討を行うことを議長報告に添付することとなった。

## ITU-R勧告SM.329-11（スプリアス領域における不要輻射）の改定

**入力文書：**1A/ 335(スイス)

**出力文書：**1A/TEMP/126

主要結果

修正案を作成しWP１Aに提出され承認されてSG1に上程された。（しかしながらSG1では米国、中国、イランからコメントが出され、合意がなされず次回持ち越しとなった。）

## ITU-R勧告SM.2028-1の改定

**入力文書：** 1A/[337](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0337)(D), 1A/[373](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0373)(6A)

**出力文書：**1A/TEMP/137

主要結果

モンテカルロシミュレーションツールのアップデート情報が<http://www.seamcat.org>にあることがnoteされた。

1A/373(6A)：議題1.22の結果に影響されるため、WRC後にWP6Aにリエゾンバックされることとなった。

## WP1Aにアサインされているその他ITU-R勧告及び報告書の見直し

**入力文書：** 1A/[364](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0364)(KOR), 1A/[365](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0365)(KOR)

**出力文書：**1/170, 172

主要結果

1A/364, 365(KOR)：特段のコメントなし。興味ある人間だけでスモールDGを開催し、結果がWG(1A3)で報告された。1A/[364](http://www.itu.int/md/R07-WP1A-C-0364)に関して、Question221-2/1は1A1からの報告待ちとなり、Question222/1は期限を2015年に延長した。

## WP1Aの管轄するITU-R勧告

**入力文書：** 1A/345(SG1)

**出力文書：**－

主要結果

WP1Aが担当している決議11-4について、“修正なし”が議長より提案され、特段のコメントなく合意された。その旨WP1Aプレナリーに報告された。

## WP1Aの管轄するITU-Rハンドブック

**入力文書：**1A/344(SG1), 1A/367(UAE)

**出力文書：**1A/TEMP/125

主要結果

1A/344：特段のコメントなし。

1A/367：内容そのものについて特段のコメントなし。本件に関する作業を進めるため、RG又はCGを設置することとなった（議長はシャリフ氏（UAE））。RGかCGについては、WP1Aプレナリーにて議論されRGを設置することとなった。

# 次回のWP1Aについて

## 開催時期及び場所

2012年6月6～13日　スイス（ジュネーブ）

## 主な検討事項

* ITU-R勧告SM.1879の更なる拡張に向けた検討（30-80MHz帯域）
* パワーグリッドマネジメントシステムに関するPDN報告書に向けた作業文書の改善
* デジタル無線通信のISM機器からの保護基準に向けた作業文書の改善
* PDN勧告SM.[ISM]に向けた作業文書の改善
* 電力伝送に関するPDN報告書の改善
* ITU-R勧告SM.1541-2 Annex 6の見直し

入力文書

| 文書番号(1A/##) | 提出元 | 表題 |
| --- | --- | --- |
| 311 | Chairman, WP 1A  | Report of the meeting of Working Party 1A (Geneva, 21 - 28 June 2010)  | WP1Aの議長レポート |
| 312 | WP 7C  | Reply liaison statement to Working Party 1A - Protection criteria for remote sensing systems  | WP1Aからのリエゾン文書に対する回答リモートセンシングシステムに対する保護基準 |
| 313 | WP 7D  | Reply liaison statement to Wroking Party 1A - Protection of Radiocommunication services using digital modulation against interference caused by radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment  | WP1Aからのリエゾン文書に対する回答ISM機器からの干渉に対するデジタル変調方式の無線通信サービスの保護 |
| 314 | WP 7D  | Liaison statement to Working Party 1A (copy for information to Working Parties 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A and ITU-T Study Group 15)  | WP1Aへのリエゾン文書（WP3L、4C、5A、5B、5C、6A、ITU-T SG15へ情報として送付） |
| 315 | WP 7B  | Liaison statement to Working Party 1A - Protection criteria for Space Radiocommunication Systems  | WP1Aへのリエゾン文書宇宙無線通信業務に関する保護基準 |
| 316 | WP 5D  | Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A and 5A (copy for information to ITU-T Study Group 5) - Isolation between co-located antennas of systems in the land mobile service including IMT  | IMTを含む陸上移動業務の基地局併設等の共用に関するITU-R WP1A及びWP5Dへのリエゾン文書 |
| 317 | WP 5D  | Liaison statement to Working Party 1A - Protection of Radiocommunication services using digital modulation against interference caused by radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment  | WP1Aへのリエゾン文書ISM機器からの放射によって引き起こされる干渉に対するデジタル変調を用いる無線通信業務の保護 |
| 318 | International Maritime Organization  | Outcome of the sixth meeting of the joint IMO/ITU Experts Group on maritime radiocommunication matters  | 海上無線通信事項に関する合同IMO/ITU専門家グループ第6回会合の結果 |
| 319 | WP 6A  | Liaison statement to ITU-R Study Groups - Methodology for calculation of maximum [PERMISSIBLE] power flux-density limits for the protection of digital terrestrial television broadcasting services from interference generated by mobile services including IMT systems where identified in the Radio Regulations  | ITU-R SGsへのリエゾン文書無線通信規則で特定されているIMTシステムを含む移動業務により生じる混信からデジタル地上テレビジョン放送を保護するための最大[許容]電力束密度制限の計算方法 |
| 320 | WP 6A  | Liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Party 1C) - Protection of terrestrial broadcasting services  | WP1Aへのリエゾン文書（WP1Cにコピー）地上放送業務の保護 |
| 321 | WP 5C  | This document has been withdrawn  | - |
| 322 | WP 5C  | Liaison statement to Working Party 1A - Protection of digital fixed wireless systems against interference caused by radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment  | WP1Aへのリエゾン文書ISM機器からの放射によって引き起こされる干渉に対するデジタル固定無線システムの保護 |
| 323 | WP 6A  | Draft liaison statement to Working Party 1A and ETSI - Spectrum shaping limits for digital terrestrial television broadcasting  | WP1A及びETSIへのリエゾン文書地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限 |
| 324 | WPs 5A, 5B and 5C  | Liaison statement to ITU-R Working Party 1A and its Rapporteur Group on PLT issues (copy to ITU-R Working Parties 3L, 4C, 5A, 5B, 6A and 7D and to ITU-T Study Groups 5 and 15) - Working Parties 5A, 5B and 5C comments relating to PLT systems  | ITU-R WP 1A及びPLT問題に関するそのラポーターグループへのリエゾン（ITU-R WP 3L、4C、5A、5B、6A、7D及びITU-T SG 5、15へ写し）PLTシステムに関連するWP 5A、5B及び5Cの意見 |
| 325 | BR Study Group Department  | This document has been withdrawn  | - |
| 326 | WP 5A  | Liaison statement to ITU-R Working Party 1A on "Wide-area sensor and/or actuator network (WASN) systems"  | 広域センサ及び（もしくは）アクチュエータネットワークシステムにおけるWP1Aへのリエゾン文書 |
| 327 | SG5  | Liaison statement from ITU-R Study Group 5 to ITU-T Study Group 5 (copy to Working Party 1A for information) - Work on electromagnetic compatibility disturbances within a single device  | ITU-T K-Series新勧告の提案に関するITU-T SG5からITU-R SG5へのリエゾン文書 |
| 328 | WP 5A  | Liaison statement to Working Party 1A - Protection of radiocommunication services using digital modulation against interference caused by radiation from industrial, scientific and medical (ISM) devices  | WP1Aへのリエゾン文書ISM機器からの放射によって引き起こされる干渉に対するデジタル変調を用いる無線通信業務の保護 |
| 329 | WP 5B  | Reply liaison statement to Working Party 1A - Finalizing the work on the revision of Annex 8 to Recommendation ITU-R SM.1541-2  | WP1Aへの返信リエゾンITU-R勧告SM.1541-2第8付属書の改訂に関する作業 |
| 330 | WP 5B  | Reply liaison statement to Working Party 1A - Protection criteria of the radiocommunication services under the purview of Working Party 5B  | WP1Aへの回答リエゾン文書ISM機器からの放射によって引き起こされる干渉に対するデジタル変調を用いる無線通信業務の保護 |
| 331 | WP 3M  | Liaison statement to Working Parties 1A, 1C, 4A, 5A, 5D, 7B and 7D - Spreadsheet implementation of the clear-air portion of Recommendation ITU-R P.452-14  | 晴天時伝搬路推定値の算出ツール勧告P.452-14に関するWP1A, 1C, 4A, 5A, 5D, 7B及び7Dへのリエゾン文書 |
| 332 | WP 5C  | This document has been withdrawn  | - |
| 333 | ITU-T JCA-NID  | Reply liaison statement on ITU-R involvement in JCA-NID with regard to studies on Short Range Devices (SRDs), which include RFIDs  | SRD（RFIDを含む）の検討に関するリエゾン文書 |
| 334 | Rapporteur PLT  | Report of the 1st meeting of WP 1A Rapporteur Group on PLT (Mainz, 13-14 January 2011)  | PLTに関するWP1Aラポーターグループの第１回会合報告（マインツ、2011年1月13-14日） |
| 335 | Switzerland (Confederation of)  | Update of Category B limits in Recommendation ITU-R SM.329-11  | ITU-R勧告329-11の分類Bの制限の更新 |
| 336 | Chairman, WP 5C  | Note to Chairmen of Working Parties 1A, 1B, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Consideration of draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4  | WP1A, 1B, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C及び7Dの議長へのノート- 勧告F.758-4の改訂案の検討 |
| 337 | Germany (Federal Republic of) | Extension of features of the statistical simulation tool described in Report ITU-R SM.2028-1 | ITU-R報告書SM.2028-1に記述された統計的シミュレーションツールの特性の拡張 |
| 338 | International Amateur Radio Union (IARU) | Interference protection requirements for amateur radio from power line telecommunication systems operating in the VHF/UHF bands between 220 and 450 MHz | 220～450MHzのVHF/UHF帯で稼働するPLTによるアマチュア無線に対する干渉保護要求 |
| 339 | Germany (Federal Republic of) | On the revision of Annex 8 in Recommendation ITU-R SM.1541-3 | ITU-R勧告SM.1541-3の第8付属書の改訂 |
| 340 | WP 5D | Liaison statement to Working Party 1A - Protection of Radiocommunication services using digital modulation against interference caused by radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment | WP1Aへのリエゾン文書ISM機器からの放射によって引き起こされる干渉に対するデジタル変調を用いる無線通信業務の保護 |
| 341 | WP 5D | Liaison statement to Working Party 1A (copied to Working Parties 5A, 5B and 5C for information) - Protection of IMT systems against radiation from PLT | WP1Aへのリエゾン文書（WP5A、5B、5Cに情報としてコピー）PLTからの放射に対するIMTシステムの保護 |
| 342 | WP 5D | Liaison statement to ITU-T Study Group 5 (copy for information to ITU-R Working Parties 1A and 5A) - Isolation between co-located antennas of systems in the land mobile service including IMT | IMTを含む陸上移動業務の基地局併設等の共用に関するITU-R WP1A及びWP5Dへのリエゾン文書 |
| 343 | British Broadcasting Corporation(BBC) | VHF emissions from PLT devices (Question ITU-R 221/1) | PLT機器からのVHF放射（ITU-R課題221/1） |
| 344 | Chairman, SG 1 | Review of ITU-R Handbooks | ITU-Rハンドブックの見直し |
| 345 | Chairman, SG 1 | Review of ITU-R Resolutions | ITU-R決議の見直し |
| 346 | Chairman, WP 1A Correspondence Group  | Chairman's Report on the activities of the Working Party 1A Correspondence Group on the revision of Annex 8 to Recommendation ITU-R SM.1541-3, July 2010 to April 2011  | ITU-R勧告SM.1541-3の第8付属書の改訂に関するWP 1Aのコレスポンデンスグループの活動に関する議長報告、2010年7月から2011年4月まで |
| 347 | WP 4C  | Liaison statement to Working Party 1A - Impact of power line transmissions on the mobile-satellite service and radiodetermination-satellite service below 470 MHz  | WP1Aへのリエゾン文書470MHz以下の衛星携帯業務と衛星無線測位業務に関するPLTの影響 |
| 348 | WP 4C  | Liaison statement to Working Party 1A - Protection of radiocommunications services using digital modulation against interference caused by radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment  | WP1Aへの回答リエゾン文書ISM機器からの放射によって引き起こされる干渉に対するデジタル変調を用いる無線通信業務の保護 |
| 349 | WP 4A  | Liaison statement to Working Party 1A - Protection of radiocommunication services using digital modulation against interference caused by radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment  | WP1Aへの回答リエゾン文書ISM機器からの放射によって引き起こされる干渉に対するデジタル変調を用いる無線通信業務の保護 |
| 350 | ITU-T SG 15  | G.hn liaison reply to ITU-R  | ITU-Rに対するG.hnに関するリエゾンの回答 |
| 351 | United States of America  | A comparison of measured B\_40 bandwidths to theoretical equations for B\_40 for two FM/CW radars  | 二つのFM/CWレーダーの実測のB-40帯域幅とB-40の理論式の比較 |
| 352 | United States of America  | Draft revision to Recommendation ITU-R SM.1541-3 - Unwanted emissions in the out-of-band domain  | ITU-R勧告SM.1541-3の改訂案 帯域外領域における不要発射 |
| 353 | IUCAF  | Proposed revision to Chapter 2 of Report ITU-R SM.2158  | ITU-RレポートSM.2158の2章に対する改定提案 |
| 354 | IUCAF  | New element towards revision of Report ITU-R SM.2158 - Impact on radio astronomy observations by leaked radiation caused by in-house PLT systems | ITU-RレポートSM.2158の改定に関する新項目屋内のPLTによって引き起こされる漏洩電波による電波天文業務への影響 |
| 355 | Israel (State of)  | Protection of the terrestrial services -fixed, mobile and radiolocation- against radiation from PLT, 30-470 MHz  | 30～470MHzにおけるPLTからの放射に対する地上業務（固定、移動、無線標定）の保護 |
| 356 | Brazil (Federative Republic of)  | Working document toward a preliminary draft new Report on Smart Grid management systems  | スマートグリッド管理システムに関する暫定新報告書草案に対する作業文書 |
| 357 | IEEE  | Update on the working document toward a preliminary draft new Report on smart grid power management systems  | スマートグリッドパワー管理システムに関する暫定新レポート草案に対する作業文書の更新 |
| 358 | CBS, Inc.  | Additions to the preliminary draft new Report ITU-R SM.[PLT + 80 MHZ] - Impact of power line telecommunications systems on radiocommunication systems operating in the VHF and UHF bands above 80 MHz  | ITU-R新レポート草案SM.[PLT+80MHz]への追加 |
| 359 | CBS, Inc.  | Working document toward a draft revision of Recommendation ITU-R SM.1879 - The impact of power line high date rate telecommunication sytems on radiocommunication systems  | ITU-R勧告SM.1879の改定案に対する作業文書 |
| 360 | CBS, Inc.  | Comments on the working document towards a preliminary draft modification of Report ITU-R SM.2158 - Impact of power line telecommunication sytems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz  | ITU-RレポートSM.2158の改定草案に対する作業文書への意見 |
| 361 | CBS, Inc.  | Addition to preliminary draft new Report ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.22] - Emissions from short-range devices  | 新報告書草案ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.22]-SRDからの放射 |
| 362 | CISPR  | Sub-Committee H of CISPR : Limits for the protection of radio services Liaison to ITU-R on protection of radio services  | CISPR H：無線業務の保護許容値無線業務の保護に関するITU-Rへのリエゾン |
| 363 | BR Study Group Department  | ITU-R Study Group 5 Recommendation ITU-R M.1177-4 to be brought to the attention of Study Groups 1 and 4  | SG 1及びSG 4の注意を喚起するITU-R SG5勧告M.1177-4 |
| 364 | Korea (Republic of)  | Status and comments on the ITU-R Questions, Recommendations and Reports assigned to the Study Group 1  | SG1に割り当てられているITU-R課題、勧告及び報告書のステータス及びコメント |
| 365 | Korea (Republic of)  | Proposed editorial update of seven Recommendations  | 七つの勧告に対するエディトリアルな修正提案 |
| 366 | Korea (Republic of)  | Working document towards preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[ISM] - Protection range calculation between inductive systems and radiocommunications services using below 30 MHz  | ITU-R新勧告草案SM.[ISM]に対する作業文書30MHz以下で使用する電磁誘導機器と無線通信業務との保護距離の計算 |
| 367 | United Arab Emirates  | Proposal for the revision of ITU-R HANDBOOK - Computer-Aided techniques for spectrum management [CAT]  | ITU-R ハンドブックへの改定提案 |
| 368 | Canada  | Proposed revisions to preliminary draft new Report ITU-R SM.[WRC-12-1.22]  | 報告書草案ITU-R SM.[WRC-12.1.22]の改訂提案 |
| 369 | Japan  | Proposed contents of the revision of Annex 8 to Recommendation ITU-R SM.1541-3 for promoting more efficient use of frequency spectrum  | ITU-R SM.1541-3 Annex 8への改定提案 |
| 370 | NDR , Zweites Deutsches Fernsehen (ZDF)  | Performance and spectrum measurements on different types of power line adapters  | 異なるタイプのPLTに関する性能と周波数の測定 |
| 371 | European Broadcasting Union (EBU)  | EBU views regarding PLT standards development by cenelec (Question ITU-R 221/1)  | CENELECによるPLT規格の開発に関するEBUの意見 |
| 372 | WP6A | Liaison statement to Working Party 1A - Further work on power line telecommunications - Applications and use of CISPR 22 limits on radiated emissions | WP1Aに対するリエゾン文書PLTからの放射へのCISPR22の適用に関する将来の作業 |
| 373 | WP6A | Liaison statement to ITU-R Working Party 1A - Characteristics of devices and systems without a frequency allocation in the Radio Regulations | WP1Aに対するリエゾン文書RRに割り当てのない機器の特性 |
| 374 | WP6A | Liaison statement to Working Party 1A (copy to relevant Working Parties of Study Groups 4, 5, 7 and copy to ITU-T Study Groups 9 and 15 for information) - Further work on power line telecommunications - Coupling of the RF energy used in PLT installations into radiation | WP1Aに対するリエゾン文書（SG4,5,7の関連WPおよびITU-T SG9,15へ情報）PLT機器の高周波エネルギーと放射の関係に関する将来の作業 |
| 375 | WP6A | Liaison statement to Working Party 1A (copy to relevant Working Parties of Study Groups 4, 5, 7 and ITU-T Study Groups 9 and 15 for information) - Further work on power line telecommunications - Observations on the concept of EMC Coordination and consideration of an alternative scenario for developing an ITU solution for managing the impact of PLT on the RF spectrum | WP1Aに対するリエゾン文書（SG4,5,7の関連WPおよびITU-T SG9,15へ情報）高周波におけるPLTの影響を制御する解決策を開発するための別のシナリオの検討とEMC協調の考え方 |

出力文書

| 文書番号(1A/TEMP/##) | 表題 | 備考（提出元） |
| --- | --- | --- |
| 119 | Draft new Question ITU-R [PWRGRD]/1 - Impact on radiocommunication systems from wireless and wired data transmission technologies used for the support of power grid management systems | 暫定新課題案[PWRGRD]電力網制御に使用される無線/有線通信技術からの無線通信への影響 | WG1A-1 |
| 120 | Liaison to IEEE Project 802 | IEEE P802へのリエゾン | WG1A-1 |
| 121 | Working document toward a preliminary draft new Report - Smart grid power management systems | 暫定新レポート草案スマートグリッドにおける電力制御システム | WG1A-1 |
| 122 | Draft liaison statement to Study Groups 4, 5, 6 and 7 and relevant Working Parties - Activities regarding the protection range calculation between inductive systems and radiocommunication services using frequencies below 30 MHz | SG4,5,6,7及び関係WPへのドラフトリエゾン文書 | WG1A-1 |
| 123 | Draft liaison statement from WP 1A to Sub Committee H of CISPR - Activities regarding the protection range calculation between inductive systems and radicommunication services using frequencies below 30 MHz | CISPRへのドラフトリエゾン文書 | WG1A-1 |
| 124 | Draft reply liaison statement from SG 1 to Sub-Committee H of CISPR (copy to Working Parties 1A, SG 4, WP 5A, WP 5B, WP 5C, 5D, SG 6, SG 7 for information) - Limits for the protection of radio services | CISPRへのリエゾン文書回答案 | WG1A-1 |
| 125 | Terms of reference for the [Rapporteur/Correspondence] Group on revision of ITU-R Handebook - Computer aided techniques for spectrum management | ITU-Rハンドブック改定に関するRG又はCGのToR | WG1A-3 |
| 126 | Preliminary draft modification of Recommendation ITU-R SM.329 - Unwanted emissions in the spurious domain | ITU-R勧告SM.329の暫定改定案 | WG1A-3 |
| 127 | Draft liaison statement on a database for the protection of radio services | 無線業務の保護のためのデータベースに関するドラフトリエゾン文書 | - |
| 128 | Preliminary draft modification of Recommendation ITU-R SM.1541 - OoB domain emission limits for primary radar systems | ITU-R勧告SM.1541の暫定改定案 | WG1A-3 |
| 129 | Liaison statement to CISPR - Information request to CISPR on the application and assessment of limits on the radiated emissions from PLT systems operating above 30 MHz | CISPRへのドラフトリエゾン文書 | WG1A-1 |
| 130 | Reply liaison statement to JCA-IOT on activities of NID/USN/RFID standardization | JCA-lOTへのリエゾン回答案 | WG1A-2 |
| 131 | Preliminary draft new Report ITU-R SM.[WRC-12-1.22] | 暫定ITU-R報告書案SM.[WRC-12-1.22] | WG1A-2 |
| 132 | Working document towards protection criteria of digital radiocommunication services from ISM devices | デジタル無線通信のISM機器からの保護基準に向けた作業文書 | WG1A-2 |
| 133 | Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[ISM] - Protection range calculation between inductive systems and radiocommunication services using frequencies below 30 GHz | PDN勧告SM.[ISM]に向けた作業文書 | WG1A-2 |
| 134 | Working document towards a preliminary draft new Report on continuing studies towards improved Out-of-Band roll-off for radars to enhance spectrum efficiency | レーダーの帯域外ロールオフ改善に向けた暫定新報告書作業文書 | WG1A-3 |
| 135 | Liaison statement on absolue limits for radar emissions | レーダー発射に関するリエゾン文書 | WG1A-3 |
| 136 | Editorial update of seven ITU-R Recommendations | ITU-R勧告のエディショナル更新 | WG1A-3 |
| 137 | Liaison statement to ITU-R Working Party 6A - Characteristics of devices and systems without a frequency allocation in the Radio Regulations | ITU-R WP6Aへのリエゾン文書RRに割当のない機器の特性 | WG1A-1 |
| 138 | Report from WG 1A-1 to Working Party 1A (Power link telecommunication systems and related issues) | WG1A1からWP1Aへの報告（PLTシステムとその関連問題） | WG1A-1 |
| 139 | Draft revision of Report ITU-R SM.2158 | レポートSM.2158の改定案 | WG1A-1 |
| 140 | Draft new Report ITU-R SM.[PLT+80 MHz] - Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the VHF and UHF bands above 80 MHz | 新レポート案SM.[PLT+80 MHz]80MHz以上のVHFおよびUHF帯で運用される無線通信業務に関するPLTシステムの影響 | WG1A-1 |
| 141 | Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1879 - The impact of power line high data rate telecommunication systems on radiocommunication systems between 80 and 470 MHz | 勧告SM.1879の改定案80～470MHzにおける無線通信業務に関するPLTの影響 | WG1A-1 |
| 142 | Liaison statement to ITU-R Working Parties 4C, 5A, 5B, 5C, 6A and 7D (copy to ITU-R Working Party 3L and to ITU-T Study Groups 5 and 15 for information and/or action if any) - Developments on PLT systems | ITU-R WP4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7Dへのリエゾン文書（ITU-R WP3L及びITU-T SG5, 15に対しては情報）PLTシステムに関する規格策定状況 | WG1A-1 |
| 143 | Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R SM.[PLT RAD-PSD] - Methodologies for relating the radiation from PLT installations to PLT modem output | 暫定新レポート草案[PLT RAD-PSD]PLTからの放射とモデム出力の関係性 | WG1A-1 |
| 144 | Liaison statement to Study Groups 4, 5, 6 and 7 and interested Working Parties - Protection of radiocommunication services using digital modulation against interference caused by radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment | SG4,5,6,7及び関連WPへのリエゾン文書 | WG1A-2 |
| 145 | Terms of Reference for the Correspondence Group on unwanted emissions of radars in the out-of-band domain | 不要発射に関するCGのToR | WG1A-3 |